

# 下川町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

下川町は人口の減少や車社会の到来により、路線バス利用者が減少し運営が厳しい状況にある。一方、高齢化率が37.9%となり、交通弱者や交通空白地帯が増加していることから、町営バスの再編と乗合タクシーの導入を行う。

## 下川町生活交通ネットワーク計画の目標・効果

交通弱者や交通空白地帯に住む高齢者等の生活交通の確保を図り、住民ニーズに対応した経済的で利便性の向上と地域にあった公共交通の確保のため、町営バスの再編と予約型乗合タクシーを導入する。

【予約型乗合タクシーの具体的な目標】 地域公共交通の満足度 50%

年間利用人数 班溪1,940人 溪和724人 北町724人

南町・西町・緑町9,236人

## 平成25年度事業概要

- ・平成24年10月1日(実証運行9月1日)より、溪和線(スクールバス混乗)の廃止と班溪線の路線の再編により予約型乗合タクシーの導入を行う。
- ・予約型乗合タクシー 利用者登録制、予約制、班溪・溪和・北町・南町・西町・緑町～市街をデマンド運行、定められた時間の中(平日8:30~9:30 11:00~12:00 13:00~14:30 15:20~15:50 土日祝日8:30~9:30 14:15~14:45 15:45~16:15)で利用可能、運賃200円 300円

## 地域公共交通の現況

- ・名士バス  
(JR名寄本線廃止に伴う代替バスと既存バス)
- ・町営バス  
(班溪線と溪和線(スクールバス混乗))
- ・スクールバス(3路線)

## 下川町地域公共交通会議開催状況

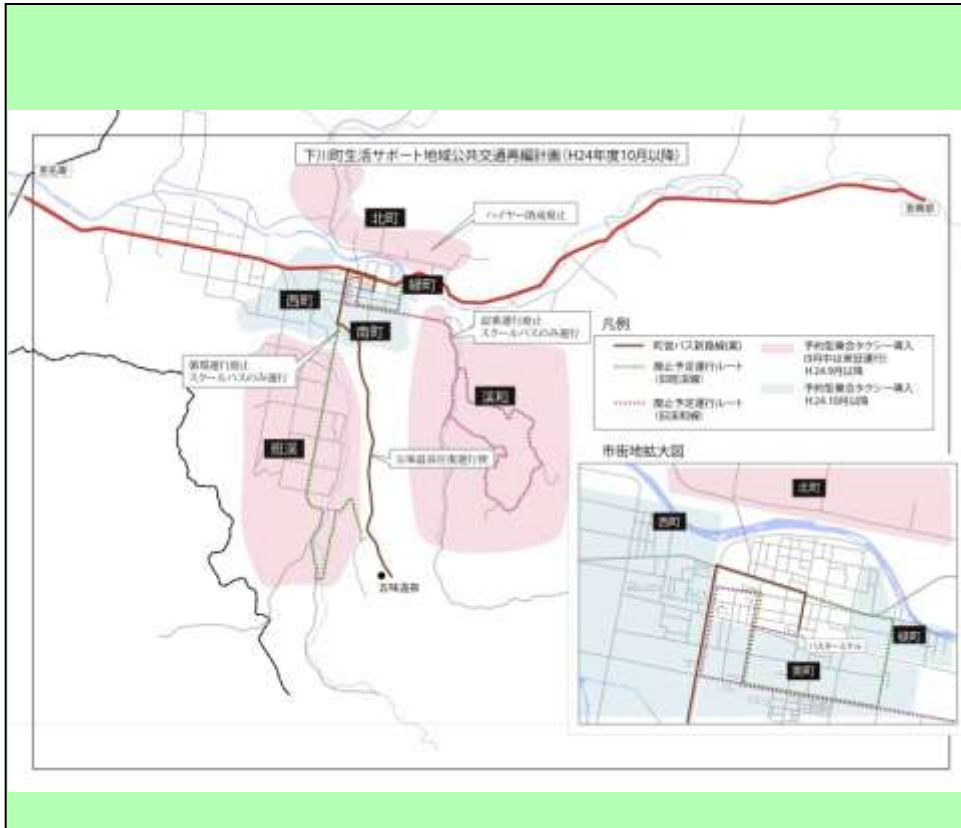
6月4日 第1回地域公共交通会議を開催  
下川町地域公共交通の具体的な再編の承認  
生活サポート地域公共交通運行概要の承認  
生活交通ネットワーク計画の承認

## 平成25年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

予約型乗合タクシーの導入については、地域住民になじみのないシステムのため、パブリックコメントや住民説明会を実施し、9月には一部運行区間で実証運行を実施した。

### 2) 運行ルート



### 3) 利用実績

下川町予約型乗合タクシー利用実績

月	斑浜		浜和		北町		南町・西町・緑町		合計		乗合率
	運行便数	利用人数	運行便数	利用人数	運行便数	利用人数	運行便数	利用人数	運行便数	利用人数	
10	79	98	24	33	21	22	131	200	255	353	1.4
11	87	108	21	25	20	25	138	241	266	399	1.5
12	68	84	26	28	36	39	196	294	326	445	1.4
1	43	56	21	26	31	36	190	264	285	382	1.3
2	65	88	23	29	33	41	240	319	361	477	1.3
3	45	57	33	37	32	32	274	383	384	509	1.3
計	387	491	148	178	173	195	1,169	1,701	1,877	2,565	1.4

### 4) 収入実績

下川町予約型乗合タクシー収入実績

月	斑浜		浜和		北町		南町・西町・緑町		合計	
	利用人数	運賃収入	利用人数	運賃収入	利用人数	運賃収入	利用人数	運賃収入	利用人数	運賃収入
10	98	26,350	33	9,200	22	4,200	200	38,300	353	78,050
11	108	27,100	25	6,800	25	4,600	241	47,800	399	86,300
12	84	23,000	28	8,800	39	6,500	294	56,600	445	94,900
1	56	16,300	26	7,500	36	6,000	264	51,000	382	80,800
2	88	25,400	29	8,300	41	6,900	319	63,200	477	103,800
3	57	17,500	37	9,450	32	7,800	383	72,500	509	107,250
計	491	135,650	178	50,050	195	36,000	1,701	329,400	2,565	551,100

## 5) 事業実施の適切性

本事業の対象地域は、人口密度が低く住居が分散しているため公共交通を利用しづらい地域で交通空白地帯が存在し、高齢者等交通弱者が住む地域であるため、既存の町営バスでは非効率な運行で高齢者にとっては不便な地域交通であることから、町営バスを再編し、予約型乗合タクシーを導入し、交通弱者や交通空白地帯を解消し、効率的で買い物や病院等日常生活に必要な地域の足として確保され計画どおり適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

交通弱者や交通空白地帯を解消するとともに高齢者の移動負担を軽減し、日常生活に必要な生活の足を確保することができ、一定程度の成果が達成できたと考える。また、高齢者の自動車免許返納の促進や引きこもり防止にも効果がでてきている。さらに2月のアンケート結果で、89.4%の方が満足しているという回答を得ている。しかし全体的に利用者数は目標の半分程度かそれ以下となっている。これは新しい交通システムのため交通弱者である高齢者にとっては利用方法が理解しづらかったことと、前日予約することが難しいことによるものと思われる。

利用人数(人)

運行系統名	目標(年間)	上期実績	下期見込	年間見込	達成率
班溪	1,940	491	480	971	50.1%
溪和	724	178	180	358	49.4%
北町	724	195	180	375	51.8%
南町・西町・緑町	9,236	1,701	1,680	3,381	36.6%
計	12,624	2,565	2,520	5,085	40.3%

## 7) 事業の今後の改善点

- ・今年10月からの2か年目となるため、計画どおり、予約型乗合タクシーのエリアを拡大するとともに、2月に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、運行時間の拡大、予約時間の緩和等利用しやすい地域交通を目指す。
- ・4月からパブリックコメントや住民説明会を実施し、地域住民へのシステムの理解と要望を取り入れて進めていく。
- ・目標値の見直しを図る。

## 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。
- ・利用者数を増加させるため、利用方法を中心としたモビリティマネジメント等の周知活動を積極的に行うとともに、可能であれば、当日予約も可能にする等の柔軟な対応の検討を期待する。
- ・また、目標値の見直しに当たっては、取組の目的が、目標達成そのものではなく、持続可能な地域公共交通の確保にあることを再確認した上で、実績と今後の利用者の推移等を踏まえたより現実的なものになるように留意すること。